



伝統芸能を受け継ぐ中学生（厚陽中学校）

「エイヤーソーレ」、トントントントントントントン。床が振動して迫力ある音が足裏に伝わってくるとともに、空気が震えて頬に当たってきました。ここは厚陽小中学校のふれあいルーム。14人の中学生が、地元の吉部田八幡宮の祭事で奉納される吉部田和太鼓を厚陽ふれあいフェスタで披露するために練習を重ねています。指導者は「生徒は頭が柔らかいから、わずかな練習でここまでできた。中学生が地元の芸能を学ぶことは頼もしいこと」、生徒は「少しずつ上達していることを実感できる」と紅潮した顔で語りました。



就学時健康診断（厚狭複合施設）

来年度、厚狭小学校に入学する予定の子どもたちが入学前に受診する健康診断が厚狭複合施設で行われました。身長測定や聴力検査、内科検査、歯科検査など、学校医や担当者から各検査のやり方を聞いてから、周りの様子を見ながら体を固くして受診していました。視力検査では、目を細めたり顔を斜めにしたりしながら、上下左右に切れ目がある輪を何とか見ようとして、開いたところを指で示したり口で伝えたりしました。検査を終えると、緊張感から解放されてほっとした表情になり、いつもの笑顔を見せていました。



いもほり（埴生幼稚園）

手伝ってえ、うんとこしょどっこいしょ、スコップ持ってきてえ、掘って掘って、おおー大きい！、採れた採れた、見て見て。埴生幼稚園の全園児が、歓声をあげながらサツマイモを収穫しました。つるをみんなですりつぶしたり、手を泥だらけにしながら土の感触を楽しんだりしました。中には、ダンゴムシやミミズなどを見つけてじっと観察する園児もいて、微笑ましい光景でした。最後に、全員で、収穫したサツマイモを10ずつに並べて数えてみると昨年度より多く190個もあり、やったー！、食べたいと大喜びでした。

